

様式第8号（第6条関係）



令和4年3月31

薩摩川内市議会

議長 川添 公貴 様

（会派代表者経由）

会派の名称 みらい創和会

経理責任者氏名 山中 真由美



政務活動費に係る収支報告書

薩摩川内市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、次のとおり、令和3年度の政務活動費に係る収支報告書を提出します。

1 収入

政務活動費 1,800,000円

2 支出

（単位：円）

科目	金額	備考
調査研究費	924,650円	
研修費	59,140円	
資料作成費		
資料購入費		
広報費		
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
人件費		
事務費	12,130円	プリンターインク代
合計	995,920円	

3 残余の額

804,080円

注1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。

2 領収書、活動報告書その他必要な書類を添付すること。

3 会派に属さない議員の場合は、「会派代表者経由」の必要はないこと。

4 会派に属さない議員の場合は、「会派の名称」は記入しないこと。

5 会派に属さない議員の場合は、「経理責任者氏名」とあるのは「議員の氏名」と読み替えること。

令和4年3月31日

薩摩川内市議会

議長 川添 公貴 様

会派の名称 みらい創和会

代表者名 瀬尾 和敬



活動報告書

1 調査研究事業

(1) 調査年月日

令和3年11月10日（水）～ 12日（金） 3日間

(2) 調査参加者

瀬尾和敬、川添公貴、福田俊一郎、森永靖子、徳永武次、塩田耕太郎、
阿久根憲造、山元剛、溝上一樹、山中真由美

(3) 調査先及び調査項目

青森県六ヶ所村 日本原燃六ヶ所再生処理工場

・安全施設の整備状況調査

衆議院会館 経済産業省資源エネルギー庁

・エネルギー基本計画について

・次世代エネルギーの今後の取組みについて

(4) 調査の概要

別添報告書のとおり

2 研修事業

(1) 会派研修会の開催

ア 日 時 令和3年8月16日（月）12時～16時

イ 場 所 川内ホテル

ウ 参加人数 9人

オ 概 要 別添報告書のとおり

(2) 会派研修会の開催

ア 日 時 令和3年11月5日（金）13時～16時

イ 場 所 みらい創和会会派室

ウ 参加人数 10人

オ 概 要 別添報告書のとおり

3 広報事業

4 広聴事業

5 要請・陳情活動事業

6 その他活動

令和3年11月19日

政務調査報告書

薩摩川内市議会議長
川添 公貴殿

みらい創和会
代表 瀬尾 和敬

下記の通り政務調査を行ったので報告します。

1. 期 日 11月10日～12日
2. 人 員 山中真由美、溝上一樹、山元 剛、森永靖子、塩田耕太郎、徳永武次、
福田俊一郎、川添公貴、阿久根憲造、瀬尾和敬
3. 視 察 11日 青森県六ヶ所村 日本原燃六ヶ所再処理工場
○安全施設の整備状況調査
12日 衆議院会館(経済産業省)
(1)エネルギー基本計画について
2050年カーボンニュートラル実現に向けた課題等
(2)次世代エネルギーの今後の取り組みについて

鹿児島県選出国會議員への表敬訪問

詳細については、次ページ以降に示した通りです。

《11月11日》 日本原燃 六ヶ所再処理工場

【対応者】

日本原燃グループ 六ヶ所げんねん企画株式会社 サイクル広報事業部 PRセンター
運営グループ
ディレクター 赤坂 猛氏 案内スタッフ 鎌田恵理奈氏 小坂咲子氏

【視察の内容】

- PR館見学
- 安全対策工事状況見学
 - 主排気筒 竜巻対策工事
 - 再処理本体用安全冷却設備新設工事
 - 新緊急時対策所建設現場
 - 高レベル管理施設(窓越し)見学
 - 低レベル放射性廃棄物処理施設建設現場(窓越し)



【六ヶ所再生工場の概要】

日本の原子力発電所で使用され終わった使用済み核燃料を集め、その中から核燃料のウランとプルトニウムを取り出す再処理工場である。予定されている最大処理能力はウラン 800t/年、使用済燃料貯蔵容量はウラン 3000t。国際原子力機関の査察を受けている。

茨城県東海村に日本原子力研究開発機構が所有する再処理工場（東海研究開発センター核燃料サイクル工学研究所・最大処理能力：ウラン 210 トン/年）を置換する施設とされ、青森県六ヶ所村の敷地内にはウラン濃縮工場、六ヶ所低レベル放射性廃棄物埋設センター、六ヶ所高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センターが併設して建設されている。今後 MOX 燃料工場の建設も予定されており、核燃料サイクルのための核燃料コンビナートを形成する。

ラ・アージュ再処理工場での実機訓練など、核燃料サイクル事業で先行するフランスから技術協力を受けている。

【質疑応答】

- Q：現在工事中の低レベル放射性廃棄物処理施設は、完成後何年稼働見込みか。
A：約20万本の容量なので今後とも毎年約1万本搬入すれば20年は受け入れ可能である。
- Q：低レベル放射性廃棄物の詰まったドラム缶を圧縮する動きがあるが、圧縮すれば低レベル放射性廃棄物処理場の延命策になると思われるがどうか。
A：従来から発電所で圧縮・減容処理は行われている。
- Q：小中高への出前授業はどのような方法で、どのような内容で開催しているか。
A：講師が各学校に出向き、霧箱実験(天然ウランなどから出るα線の飛跡がドライアイスの霧状の中に見えるという原理)や放射線測定実験などを行っている。
- Q：六ヶ所村の全戸訪問を行い、日本原燃の説明を行っているが、日本原燃そのものに反対するケースはないか。
A：過去には反対者が多かったが、近年は理解者が増えている。
- Q：女性活躍推進宣言を行っているが、社員総数、女性社員数、管理職数はいかほどか。
A：社員総数約3100名。女性約340名。女性の管理職者5名。

【所見】

敷地内の諸施設は、重大事故対策(地震、火山灰、竜巻、外部火災、航空機落下、内部溢水、内部火災)、冷却水の確保(放水砲の準備)、電源の確保など原発の施設とほぼ同じような安全対策が取られている。使用済み核燃料の再生手順の模型を見たり、ガラス固体化したウランの500キログラムの模型に触れたり、またその貯蔵施設など窓越しに見たが、盤石な体制になっていると感じた。

川内原発の使用済み核燃料、低レベル放射性廃棄物がこの六ヶ所再生処理場に搬入されることになるが、2022年の原子力規制委員会の審査に合格し、一刻も早く「トイレなきマンション」などと揶揄されないような原子力政策が確立されるべきである、と感じた。



【11月12日】衆議院会館(経済産業省)

【対応者】

経済産業省資源エネルギー庁
総務課戦略企画室
室長補佐 大田悠平氏

【視察の内容】

- (1) エネルギー基本計画について
 - ・ 2050年カーボンニュートラル実現に向けた課題等
- (2) 次世代エネルギーの今後の取り組みについて



【質疑応答】

Q：薩摩川内市議会では福島原発事故直前に川内原発3号機増設賛成の陳情書を採択したことがあったが、県により留保された状態となっている。資源エネルギー庁の見解は？

A：2030年までの大型新設はないと申し上げた。2050年に向けて政府の公式答弁としては新増設は想定していない。まだ先のことであるし情勢が見えてこない。社会情勢の中でどの程度原子力が必要か、必要であれば大型の原子力が決して否定されるものではない。

Q：洋上風力発電の被害状況はどうか。

- A：日本ではまだ本格導入されていないが、ヨーロッパでは詳細なデータは出ていない。
- Q：150万kWの出力を出すには、風力発電は何基必要か。
- A：色々なパターンがあるため不明。
- Q：風力発電の開発が進められれば森林伐採による災害が懸念されるが、経済産業省としてどう考えているか。
- A：開発の是非等については自治体の判断に委ねたい。
- Q：畜産はCO₂が排出されると言われており、代わって大豆ミートなどの開発を進める考え方もあるが、見解は？
- A：環境省の管轄である。
- Q：再生可能エネルギーについて、自治体で取り組むための条例化を指導しているか。
- A：自然エネルギー庁の管轄であるが、各自治体の判断に任せるべきと考える。
- Q：MOX燃料の原料となるプルトニウム抽出について国際的な理解は得られるか。
- A：現在のところ批判はない。プルサーマル計画は進めていきたい。
- Q：使用済み核燃料の最終処分場について、文献評価などを行うわけだが、説明会開催を進められないか。
- A：依頼されたら出掛けて説明する。

【所見】

おびただしいページの資料を提示され説明を受けた。2050年までにゼロカーボンにするという目標に向かって懸命になっておられる様子が伝わった。その前の2030年を先ず目安にして様々な政策を立案されている。原発の20年延長期限が切れれば、原発で補ってきた自然エネルギー代替策として、矢張り原発に頼らざるを得ない状況になるということも理解できた。

薩摩川内市長がゼロカーボンシティ宣言を発したが、企業等の努力も必要であるが、身近な生活の中でのCO₂削減に市を挙げて取り組む必要がある。また再生可能エネルギーとして太陽光発電があるが、安価に蓄電システムが設置できれば、次世代エネルギー政策はさらに進むのではないかと考える。

衆議院会館 地元選出国會議員訪問



【森山 裕、鈴木宗男代議士を囲んで】

*小里泰弘代議士は、陳情者を国土交通省へ案内のため不在。



【宮路拓馬代議士を囲んで】

令和3年8月20日

みらい創和会政務活動報告書

薩摩川内市議会議長
川添 公貴殿

みらい創和会
代表 瀬尾 和敬

下記の通り、政務活動を行ったので報告します。

1. 日 時 令和3年8月16日 12時～16時
2. 場 所 川内ホテル
3. 参加者
阿久根憲造(13時～14時)、山中真由美、溝上一樹、山元 剛、福田俊一郎、
塩田耕太郎、森永靖子、徳永武次(12時～13時)、川添公貴、瀬尾和敬
の各議員
4. 議 題
(1) 9月議会的一般質問についての意見交換
・ 質問者は、阿久根憲造、山中真由美、溝上一樹、山元 剛、塩田耕太郎、
森永靖子の 各議員

(2) 情報交換

以上

令和3年11月8日

みらい創和会政務活動報告書

薩摩川内市議会議長
川添 公貴殿

みらい創和会
代表 瀬尾 和敬

下記の通り政務活動を行ったので報告します。

1. 日 時 令和3年11月5日 13時～16時
2. 場 所 みらい創和会会派室
3. 参加者
阿久根憲造、山中真由美、溝上一樹、山元 剛、塩田耕太郎、森永靖子、
徳永武次、福田俊一郎、川添公貴、瀬尾和敬
4. 議題
 - (1) 11月10日からの政務調査について
 - (2) 11月24日に執行される副議長選挙について
 - (3) 12月定例会の一般質問について
・現時点で5名の質問者を確認



以上

政務活動費領収書等添付用紙

			整理番号
使途項目	調査研究費	支出内容	
(領収書等貼付面)			

領 収 証

No.408603



みらい創和会 様

令和3年 11月 9日
 下記の通り領収致しました
 合計金額 ￥ 841,700-

鹿児島市中央町18番地1

南国交通株式会社

電話 (099)255-2141



摘 要	金 額	備 考
視察費として	841,700	
消 費 税		発行部所
合 計	¥ 841,700	期內営業所 (099)255-

(事業名、使途及び内容等)
 11 / 10 ~ 12 青森県六ヶ所村等視察

(備考)

政務活動費支払証明書

使途項目 調査研究費

支払年月日	支払額	支払先	使途及び内容	添付できない理由
R3.11.10 R3.11.12	2,220 円	南国交通	蘭牟田温泉前から空港までのバス賃（往復）	当日、乗車券を購入したため
R3.11.10 R3.11.12	2,700 円	南国交通	ねれ北から空港までのバス賃（往復）	当日、乗車券を購入したため
R3.11.10 R3.11.12	3,200 円	南国交通	川内駅から空港までのバス賃（往復）	当日、乗車券を購入したため
R3.11.10 R3.11.12	3,200 円	南国交通	永利入口から空港までのバス賃（往復）	当日、乗車券を購入したため
R3.11.10 R3.11.12	3,200 円	南国交通	川内駅から空港までのバス賃（往復）	当日、乗車券を購入したため
R3.11.10 R3.11.12	3,200 円	南国交通	川内駅から空港までのバス賃（往復）	当日、乗車券を購入したため
R3.11.10 R3.11.12	3,200 円	南国交通	川内駅から空港までのバス賃（往復）	当日、乗車券を購入したため
R3.11.10 R3.11.12	3,200 円	南国交通	川内駅から空港までのバス賃（往復）	当日、乗車券を購入したため
R3.11.10 R3.11.12	3,200 円	南国交通	川内駅から空港までのバス賃（往復）	当日、乗車券を購入したため
R3.11.10 R3.11.12	3,200 円	南国交通	川内駅から空港までのバス賃（往復）	当日、乗車券を購入したため
合計	30,520 円			

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和 3 年 1 1 月 1 2 日

会派名 みらい創和会

代表者 瀬尾 和敬



政務活動費支払証明書

使途項目 調査研究費

支払年月日	支払額	支払先	使途及び内容	添付できない理由
R3.11.10	710 円	JR バス東北	青森空港から青森駅前までのバス賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
R3.11.10	710 円	JR バス東北	青森空港から青森駅前までのバス賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
R3.11.10	710 円	JR バス東北	青森空港から青森駅前までのバス賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
R3.11.10	710 円	JR バス東北	青森空港から青森駅前までのバス賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
R3.11.10	710 円	JR バス東北	青森空港から青森駅前までのバス賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
R3.11.10	710 円	JR バス東北	青森空港から青森駅前までのバス賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
R3.11.10	710 円	JR バス東北	青森空港から青森駅前までのバス賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
R3.11.10	710 円	JR バス東北	青森空港から青森駅前までのバス賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
R3.11.10	710 円	JR バス東北	青森空港から青森駅前までのバス賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
R3.11.10	710 円	JR バス東北	青森空港から青森駅前までのバス賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
合計	7,100 円			

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和 3 年 1 1 月 1 0 日

会派名 みらい創和会

代表者 瀬尾 和敬



政務活動費支払証明書

用途項目 調査研究費

支払年月日	支払額	支払先	用途及び内容	添付できない理由
R3.11.11	1,240 円	京急電鉄ほか	羽田空港から赤坂見附までの電車賃（往復）	当日、乗車券を購入したため
R3.11.11	1,240 円	京急電鉄ほか	羽田空港から赤坂見附までの電車賃（往復）	当日、乗車券を購入したため
R3.11.11	1,240 円	京急電鉄ほか	羽田空港から赤坂見附までの電車賃（往復）	当日、乗車券を購入したため
R3.11.11	1,240 円	京急電鉄ほか	羽田空港から赤坂見附までの電車賃（往復）	当日、乗車券を購入したため
R3.11.11	1,240 円	京急電鉄ほか	羽田空港から赤坂見附までの電車賃（往復）	当日、乗車券を購入したため
R3.11.11	1,240 円	京急電鉄ほか	羽田空港から赤坂見附までの電車賃（往復）	当日、乗車券を購入したため
R3.11.11	1,240 円	京急電鉄ほか	羽田空港から赤坂見附までの電車賃（往復）	当日、乗車券を購入したため
R3.11.11	1,240 円	京急電鉄ほか	羽田空港から赤坂見附までの電車賃（往復）	当日、乗車券を購入したため
R3.11.11	1,240 円	京急電鉄ほか	羽田空港から赤坂見附までの電車賃（往復）	当日、乗車券を購入したため
R3.11.11	1,240 円	京急電鉄ほか	羽田空港から赤坂見附までの電車賃（往復）	当日、乗車券を購入したため
合計	12,400 円			

上記のとおり相違ないことを証明します。







令和3年11月11日

会派名 みらい創和会
 代表者 瀬尾 和敬



市内旅費領収明細書

使途項目 調査研究費

整理番号	日付	出張用務	起点～終点	旅費額	領収日	領収印	備考
1	11月10日 11月12日	会派視察市内旅費	大婁 ～ 蘭牟田	440円	11/12		
2	11月10日 11月12日	会派視察市内旅費	東郷 ～ 樋脇	590円	11/12		
3	11月10日 11月12日	会派視察市内旅費	隈之城 ～ 平佐西	220円	11/12		
4	11月10日 11月12日	会派視察市内旅費	可愛 ～ 平佐西	150円	11/12		
5	11月9日 11月13日	会派視察市内旅費	里 ～ 平佐西	8,480円	11/12		前泊後泊
6	11月10日 11月12日	会派視察市内旅費	可愛 ～ 平佐西	150円	11/12		
7	11月9日 11月13日	会派視察市内旅費	里 ～ 平佐西	22,900円	11/12		前泊後泊
8			～	円			
9			～	円			
10			～	円			
11			～	円			
12			～	円			
13			～	円			
14			～	円			
15			～	円			
16			～	円			
17			～	円			
18			～	円			
		合計	～	32,930円			

※薩摩川内市職員等旅費の支給に関する条例施行規則に準じて支出

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

使途項目	研修費	支出内容	
------	-----	------	--

(領収書等貼付面)

領 収 証				№ 007010	
<p style="font-size: 1.2em;">川内創和会様</p>				令和 9 年 8 月 26 日	
税込金額				<p style="font-size: 1.5em;">¥16500</p>	内訳 宿泊代 飲食代 現金 カード その他
但し				<p style="font-size: 1.2em;">会議室料等</p>	
上記金額正に領収致しました					
宿泊・大小宴会・結婚式場・天然温泉 有限会社 川内ホテル 代表取締役 上白石 秀 鹿児島県薩摩川内市鳥追町7番5号 ☎ 0996 ☎ 1000					
				収 入 印 紙	担当者印 









(事業名、使途及び内容等)

8 / 1 6 会派研修時会議室使用料 (川内ホテル)

(備考)

市内旅費領収明細書









使途項目 研修費

整理番号	日付	出張用務	起点～終点	旅費額	領収日	領収印	備考
1	8月16日	会派勉強会	大裏 ～ 平佐西	1,630円	8/16		
2	8月16日	会派勉強会	東郷 ～ 平佐西	590円	8/16		
3	8月16日	会派勉強会	隈之城 ～ 平佐西	220円	8/16		
4	8月16日	会派勉強会	永利 ～ 平佐西	300円	8/16		
5	8月16日	会派勉強会	可愛 ～ 平佐西	150円	8/16		
6	8月16日	会派勉強会	里 ～ 平佐西	5,180円	8/16		後泊
7	8月16日	会派勉強会	可愛 ～ 平佐西	150円	8/16		
8	8月16日	会派勉強会	里 ～ 平佐西	13,100円	8/16		後泊
9			～	円			
10			～	円			
11			～	円			
12			～	円			
13			～	円			
14			～	円			
15			～	円			
16			～	円			
17			～	円			
18			～	円			
19			～	円			
20			～	円			
		合計	～	21,320円			

※薩摩川内市職員等旅費の支給に関する条例施行規則に準じて支出

市内旅費領収明細書

使途項目 研修費

整理番号	日付	出張用務	起点～終点	旅費額	領収日	領収印	備考
1	11月5日	会派勉強会	大妻～川内	1,630円	11/5		
2	11月5日	会派勉強会	東郷～川内	590円	11/5		
3	11月5日	会派勉強会	隈之城～川内	150円	11/5		
4	11月5日	会派勉強会	永利～川内	370円	11/5		
5	11月5日	会派勉強会	可愛～川内	150円	11/5		
6	11月5日	会派勉強会	里～川内	5,180円	11/5		後泊
7	11月5日	会派勉強会	可愛～川内	150円	11/5		
8	11月5日	会派勉強会	里～川内	13,100円	11/5		後泊
9			～	円			
10			～	円			
11			～	円			
12			～	円			
13			～	円			
14			～	円			
15			～	円			
16			～	円			
17			～	円			
18			～	円			
19			～	円			
20			～	円			
		合計	～	21,320円			

※薩摩川内市職員等旅費の支給に関する条例施行規則に準じて支出

政務活動費領収書等添付用紙

			整理番号
用途項目	事務費	支出内容	
(領収書等貼付面)			



2021年09月01日
領 収 証
 株式会社カコイエレクトロ 様
 みらい創和会

金額 ￥12,130 -
 但し フォリントインク代として
 消費税等1,102円合んであります



株式会社カコイエレクトロ
 〒892-0836
 鹿児島県鹿児島市錦江町9-25

No.001448002
 発行店 鹿児島川内店
 電話番号 0996-23-0888

金額	内訳
現金	12,130
クレジット	0
ギフト券等	0
ポイント	0
振込	0

10%対象 ￥12,130
 10%対象消費税 ￥1,102

(事業名、用途及び内容等) 会派室用プリンタインク
(備考)